

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【あいさつ運動】</p>	<p>① 児童会たてわり班活動での朝のあいさつ運動を行った。 ・たてわり班活動（1年生から6年生までの10名程度のグループ、8班編成）の一つとして、月初めの2日間、児童の登校時間に実施した。 ・地域の児童員の方も協力してくださった。</p> <p>② 計画・JRC委員会での朝のあいさつ運動を行った。 ・委員会の児童8名で年に3回、児童の登校時間に行った。</p> <p>③ さわやかマナーキャンペーン活動を行った。 ・「友達や地域の人に気持ちのよいあいさつをしよう」をテーマに、11月1日、学校の正門前の交差点や学校付近の交差点で行った。 ・5・6年全児童、本校職員、中小路学区コミュニティ推進会や駒王中学校の教職員・生徒、そして中小路小学校PTAの協力を頂いた。</p> <p>〈成果〉 ・あいさつの大切さを知り、心のこもった気持ちのよいあいさつができた。 ・児童同士、教師と児童が、あいさつをすることによって心を通わせることができた。 ・地域の方々と一緒に、通りを歩く人々に気持ちのよいあいさつをし、地域の一員としての自覚を高めることができた。</p> <p>〈課題〉 ・コロナ禍で、大きい声での挨拶が難しいように感じた。声の大きさではなく、心のこもった挨拶の大切さについて今後も指導していきたい。</p>
<p>2 実践2 【いじめゼロ週間】</p>	<p>① 全学年において、道徳の時間等を活用して心温まる人権メッセージを考えた。また、放送による人権メッセージの紹介を行った。</p> <p>② 各クラスでいじめゼロスローガンや達成に向けた取り組みを考え、放送による紹介を行った。また、学年末にはアンケートを行い、各クラスの達成状況を把握した。</p> <p>〈成果〉 ・日頃の感謝の気持ちや、普段のあいさつ、人種差別のない世界等について、改めて考えることで自分の思いに気付くことができた。 ・放送による人権メッセージの紹介を行ったことで、人権に対する様々な考え方や意識に気付くことができた。 ・各クラスでいじめゼロスローガンや達成に向けた取り組みを考えることで、互いを認め合い、友達を思いやる気持ちを育てることができた。 ・学年末にアンケートを行うことで、児童の気持ちの変化や来年度への課題に気付くことができた。</p> <p>〈課題〉 ・特に低学年児童は、「人権」について考えるのが難しいように感じた。今後は「人権」について低学年児童にもわかりやすいリーフレットなどを作成し、さらに深められるようにしたい。</p>